畫論に凝て筆ならふところを得ざるは医案正しく匙の
通ぜざるを言ふ老いし古人の説を活動し疾病
全治なさしむ良医なる人ぞ我を?画人も亦然り
古法は準縄なればとて其を点するあらしく天識
画なさんとする筆を上手なりとはしとある人なきを云人を評
独此翁のみとてもめぐらし法を守り家なれば五十年来
画の肝風骨精致の画道を嫌ひて山の雲外わかねある

The Hokusai Manga
No. 11.

知らぬ絵に似たる猫と虎は真を写す筆法にて生じたる写生の道にて一家の画道を開きて往々変化妖怪の事より三千世界になきものまでも画にて成就す十巻刊行なりしも猶ほ足らず余りて年来雲霧を吐き出すにより翁の筆端に漏るる物はなしとまで山水草木禽獣を写して廿編となしてこそ全部とせんことをなしたる十二編の著作の翁は北斎に勝りて尤も興ある絵なりけん

柳亭種彦

漫画 新

畫卦起り

天あり

山之

地へ

水あり

乾 天

坤 地

艮 山

坎 水

周の文王

芦屋道満

易術を競ふ

安倍清明

度會は太夫なり とのことなり

哥占

是ハ葛原浦の
ごひおりく
野らの猫の
今ハ巣にて
あたから世乃中

辻占

ふけときや ゆふ夢路
神ふる比 とへは道ゆく人ニ占正にせよ

鶏犬の声に
吉凶を知る

勝敗

二王のいろあげ

興あ氣編

天人のでんがくをせ

平の忠もり 立役

て狗は むかえ

ぎおんの大とりつびる

下部の
おくびやう
玉手箱乃
まちがひ

つきやれ
そさう
角觝の編
横綱
免許
谷風
梶之助
大裏
相撲使

しろうと
すまう
まへ
すまう
二ばん
どり
はま
どり
がくや
とりまはし
しむる
しこ
ふむ

中ウせ
すまう
とりくみ
ヘや入り
三ッ役
立合ヒ
よび
だし
奴
たいのうた見

志里すもふ
足すもふ
さぎすもふ
三尺すもう

とらけん
拳ノ角力
つゝまん
唐人拳
イシロウ
ハンウ
ホヲウ
ヘエイトン
チイン
リウヽヌウ
ヲウワア
アカアン

里田

山家ノ田

北斎漫画二編

羅漢舞

山田
水田
山の辺
里畑
山畑

伐木渓を下す
山中の時雨

安志尾の裏山
庚申山猿ヶ浄土

二王石

臺石

自然の石橋

裏見ヶ飛泉

獵の編
獵師
雉子笛
猪伐
凹を覘う
同
高き覘う

切火縄（きりひなは）

口薬入（くちくすりいれ）

胴薬入（どうくすりいれ）

鳥口

玉袋（たまぶくろ）

火縄（ひなは）

黐にて（もち）烏を（からす）とらふ

カラーイ
ホウヘル

漢土（から）にて
りやーし
猟師

切火縄（きりびなハ）

北斎漫画十二編
海魔
當國の獵人大鳥を打つ形
猛獸を伐つ圖
火歩筒

似西洋銃
海魔步
弓締

韃將似雙兕
短炮明兵歩

北斎漫画十二編

雙穴之短炮（そうけつのたんづつ）

火ホ裡面

火門

脊面之形

火ホ脊面

石挾

石

側面全圖

引金

火ホ側面

裡面之形

裡面之二

刀八毘沙門天（とうはちびしやもんてん）

略画の編

鳳

北斎漫画十二編

層輪塔

三戈鳥栖（さんきいとりゐ）

北斎漫画十二編
五
隹
一
夫